

## R16a VERAによるW51Mの相対VLBI観測

官谷幸利 (国立天文台)、今井裕 (鹿児島大理)、VERAプロジェクトチーム

VERA (VLBI Exploration in Radio Astrometry) 計画は、22GHz帯と43GHz帯において、銀河系内のH<sub>2</sub>Oメーザー源とSiOメーザー源の位置天文観測を、相対VLBIによって行うプロジェクトである。VERAの初期サイエンス観測のテーマの一つとして、我々は大質量星形成領域W51Mの、22GHz帯相対VLBI観測を行っている。W51Mの近傍1.19°の距離には、参照電波源TX1922+155(0.3Jy@8GHz)があり、比較的明るいメーザー源-参照電波源ペアであるため、初期観測のターゲットに適している。

我々は、2003年より月に一度程度のペースで、W51M-TX1922+155ペアに対する相対VLBI観測を行ってきた。それらのデータの中で、比較的条件のよいエポックのデータに対して解析を行い、位相補償マップの取得に成功している。本講演では、これらのデータの解析結果を報告し、W51MのH<sub>2</sub>Oメーザースポットの固有運動について議論する。